

日置地区の国・県指定文化財

令和7年6月末日現在

1 国指定

(1) 重要無形民俗文化財

名称	所在地	指定年月日
① 市来の七夕踊	いちき串木野市大里	昭56年1月21日

(2) 天然記念物

名称	所在地	指定年月日
② ヤッコソウ発生地	日置市東市来町湯田	大11年3月8日

2 県指定

(1) 有形文化財

名称	所在地	指定年月日
⑬ 吹上町田尻の金銅菩薩立像	鹿児島市城山町(黎明館)	平19年4月24日
⑭ 伊作郷御飯屋文書	日置市吹上町中原	平21年4月21日
⑮ 吉利郷惣絵図	鹿児島市城山町(黎明館)	平25年4月23日
⑯ 日置市美山玉山神社伝来資料	日置市東市来町美山	平31年4月19日

(2) 無形文化財

名称	所在地	指定年月日
③ 妙音十二楽	日置市吹上町田尻	昭46年5月31日

(3) 民俗文化財

ア 有形民俗文化財

名称	所在地	指定年月日
⑩ 東市来町養母の田の神	日置市東市来町養母	昭43年3月29日
⑪ 東市来町湯之元の田の神	日置市東市来町湯田	昭43年3月29日
⑫ 吹上町中田尻の田の神	日置市吹上町田尻	昭43年3月29日

イ 無形民俗文化財

名称	所在地	指定年月日
④ 羽島神社春祭に伴う芸能(田打, 船持祝)	いちき串木野市羽島	昭37年10月24日
⑤ 深田神社春祭に伴う芸能(田打)	いちき串木野市下名	昭37年10月24日
⑥ 大田太鼓踊	日置市伊集院町大田	昭39年6月5日
⑦ 伊集院町徳重大バラ太鼓踊り	日置市伊集院町徳重	平5年3月24日
⑧ 吹上町の伊作太鼓踊	日置市吹上町湯之浦	昭41年3月31日
⑨ 吹上 大汝牟遅神社の流鏝馬	日置市吹上町中原	昭56年3月27日

(4) 記念物

ア 史跡

名称	所在地	指定年月日
⑭ 来迎寺跡墓塔群	いちき串木野市大里	昭42年3月31日
⑮ 市来町市来貝塚	いちき串木野市川上	平6年3月16日
⑯ 常楽院	日置市吹上町田尻	昭29年3月15日
⑰ 亀丸城跡	日置市吹上町中原	昭30年7月13日
⑱ 黒川洞穴	日置市吹上町永吉	平16年4月20日
⑲ 美山薩摩焼窯	日置市東市来町美山	平18年4月21日

イ 天然記念物

名称	所在地	指定年月日
⑳ 仙人岩の植物群落	いちき串木野市冠岳	昭29年5月24日
㉘ 日置市吹上町の大汝牟遅神社の「千本楠」社叢	日置市吹上町中原	令5年5月2日

3 登録有形文化財

名称	所在地	登録年月日
㉙ 旧黒木回春堂医院(木造平屋建)	日置市吹上町永吉	平19年10月2日
㉚ 九州電力大田発電所本館(石造平屋建)	日置市伊集院町大田	平20年3月7日
㉛ 市来大迫家住宅(木造平屋建)	いちき串木野市湊町	平30年3月27日
㉜ 沈壽官家茶室鶴壽軒(建造物)	日置市東市来町美山	令7年3月21日答申



日本の長い歴史のなかで生まれ、今日まで守り伝えられてきた古い建物や美術品、生活や習わしなどのことです。一度失ってしまうと、二度とはもどらないのです。わたしたちは、先祖が残してくれた文化財を未来に向けて、確実に受け継いでいくことが大切です。

どんなものがあるの？

有形文化財

形のあるもので、建造物と美術工芸品があります。建造物は古くから残っているお寺や神社、昔の暮らしの様子を伝える古民家などです。美術工芸品は、昔から大切にされてきた絵画や掛け軸、仏像、古いお皿や器、古文書、発掘された土器などです。

無形文化財

形のないもので人間の「わざ」そのものです。伝統的な技術や日本古来の伝統芸能(雅楽、能楽など)の技能があります。

民俗文化財

地域で長い間守り伝えられた風習や行事、お祭りや暮らしに関係する道具類などです。人々の生活の移り変わりを理解するために欠かせないもので、有形と無形の民俗文化財があります。

記念物

自然が作り出す珍しい風景や、希少で珍しい動植物、昔のお城の跡、古墳、庭園などがあります。

伝統的建造物群

門前町や城下町など昔からの古い町並みや建物のまとまりを保存していくために設けられた地区のことです。周辺の環境や景観なども含まれます。

参考・引用：県教育庁文化財課「かごしま文化財事典(WEB版)」より

令和7年度

日置地区の文化財

くに けんしていぶんかざい 国・県指定文化財

けんしていおけいみんぞくぶんかざい 県指定無形民俗文化財



写真提供 日置市教育委員会

くにどうろくゆうけいぶんかざい 国登録有形文化財



※ 令7年3月21日答申。(令7年6月末日現在)

わたしたちの日置地区には、たくさんの文化財があるんだね。

自分の地域にある貴重な文化財を、もっと調べてみよう。



日置地区社会教育振興会

① 市来の七夕踊 《国指定》

いちき たなばたおどり

旧暦7月7日に近い日曜日に行われます。約400年の歴史があり、太鼓踊を中心に鹿・虎・牛・鶴などの作り物や琉球王行列・大名行列・薙刀行列などの行列物があります。現在、少子高齢化により、太鼓踊が中心に奉納されています。

③ 妙音十二楽 《県指定》

みょうおんじゅうにがく

毎年10月12日、吹上町田尻の常楽院で行われます。各地のお坊さんが集まり琵琶・太鼓・ホラ貝などの楽器で、12曲が演奏されていましたが、現在、後継者不足により演奏の披露は行われていません。

⑤ 深田神社春祭に伴う芸能(田打) 《県指定》

ふかだじんじやはるまつ

旧暦2月2日に深田神社で行われる春のお田植え祭です。父親役・息子役の太郎と次郎、そして牛役が登場し、田植えのまねをし、豊作を祈願する祭りです。「ガウンガウン祭」とも言います。

⑦ 伊集院町徳重大バラ太鼓踊り 《県指定》

いじゅういんちょうとくしげう

妙円寺詣り前日に島津義弘公を追悼するために徳重神社に奉納されます。県内の太鼓踊りの中では、もっとも大きな太鼓(直径約1.45m)を使用し、のぼり旗も約20mと大変おおがかりです。

⑨ 吹上 大汝牟遅神社の流鏝馬 《県指定》

ふきあげ おおなむぢじんじや

毎年11月23日、大汝牟遅神社で奉納されます。およそ200mの馬場に2人の騎手が交互に3回走り、馬の上から弓矢を射抜きます。

⑪ 東市来町湯之元の田の神 《県指定》

ひがしいちきちゆうもと

像の高さが74cmで、1739年につくられています。前から見ると、くりはかまに見えますが、後ろからは長はかまが地についた形に見えます。右手にもつメシゲ(しゃもじ)は笠の上ののせ、左手には腕をもっています。

② ヤッコソウ発生地 《国指定》

はっせいち

湯田稲荷神社のうら山、椎の大木の根元に10月中旬から11月初めに発生します。高さが3~4cm、姿が「奴さん」に似ていることから牧野富太郎によってその名がつけられました。数が少なく、大変めずらしい植物です。

④ 羽島崎神社春祭に伴う芸能(田打、船持祝) 《県指定》

はしまざきじんじやはるまつ

旧暦2月4日に羽島崎神社で行われます。農業と漁業の安全と豊かな恵みを祈願します。集落の数え年5歳になった男児を祝う行事と一緒に行われるところが、県内でも珍しい祭りです。「太郎太郎祭」とも言います。

⑥ 大田太鼓踊 《県指定》

おおたたいこおどり

毎年10月第4土曜日、妙円寺詣りの前日に徳重神社に奉納されます。腰に長い木刀をさし、城攻めの様子を表したものとされ、進退のあざやかさの特徴があります。

⑧ 吹上町の伊作太鼓踊 《県指定》

ふきあげちゆういちき

毎年8月28日に伊作の6地区が交代で南方神社に奉納します。背中から大きな唐団扇を背おって踊る勇壮な太鼓おどり、洗練された民俗芸能の美しさを見ることが出来ます。

⑩ 東市来町養母の田の神 《県指定》

ひがしいちきちゆうもと

像の高さが92cmで、1769年につくられています。眉のつりあがった厳しい表情であごひげがあり、そでが地に着くほどの長衣をつけています。両手で杓を立てて持つ直立神像型の田の神です。

⑫ 吹上町中田尻の田の神 《県指定》

ふきあげちゆうなかつたじり

像の高さが96cmで、1717年につくられています。頭巾風にシキをかぶり、長袖の衣にひだの多いはかまをつけています。また、右手に小さいメシゲ、左手に長いくわを持っています。僧衣立像の背の高い田の神です。

⑬ 吹上町田尻の金銅菩薩立像 《県指定》

ふきあげちゆうたじり

吹上町永吉の県歴史・美術センター黎明館にあり、高さ16.3cmの小さな仏像です。元々は、銅に金をぬったきらびやかな仏像であったと想像されます。飛鳥時代の7世紀半ばに作られたと言われ、九州で最も古い仏像の一つです。

⑭ 黒川洞穴 《県指定》

くろかわどうけつ

大洞穴は奥行きが、16m以上もあります。ここで見つかった縄文時代の黒川式土器は、土器の形の基準になっています。

⑮ 美山薩摩焼窯 《県指定》

みやままつまやきがま

東市来町美山にある登り窯です。約120年間使われ、明治の初めには使われなくなりました。藩の御用窯として作られ、焼き物は海外にも輸出されました。

⑯ 仙人岩の植物群落 《県指定》

せんじんいわ

冠岳の東岳にある仙人岩は高さ約70mの絶壁です。ここにはシダ植物であるキクシノブが自生しているほか、スズジイやイスノキなどの貴重な植物群落が発達しています。

⑰ 旧黒木回春堂医院 《登録有形文化財》

きゅうろくろきかいしゅんどういん

吹上町永吉にあり、昭和3年から昭和53年まで医院として使用されました。木造平屋建ての洋風建築ですが、いたる所に和風建築の技術が生かされています。

⑲ 伊作郷御飯屋文書 《県指定》

いさくごうおかりやもんじゆ

吹上歴史民俗資料館に保管されています。明治時代までの586点の史料です。伊作郷に関する土地・戸籍、通知文など江戸時代の鹿兒島の歴史を知る上でも貴重な史料です。

⑳ 市来大迫家住宅 《登録有形文化財》

いちきおおさこけいじゆうたく

市来大迫家住宅は、古くから貿易港として栄えたいちき串木野市湊町にあります。1916年(大正5年)に建てられた木造平屋建ての住宅です。皇室にゆかりのある方も宿泊された建造物です。

㉑ 沈壽官家茶室鶴壽軒 《登録有形文化財》

ちんじゆうかんげあつつかくしゅけん

薩摩焼窯元の「沈壽官窯」の敷地内にある昭和44年(1969)に建てられた木造平家建ての茶室です。茶道・裏千家の15代家元が監修しています。支柱を立てて軒が深くつくられている点などに特徴があります。[R7年3月21日答申]

㉒ 日置市吹上町の大汝牟遅神社の「千本楠」社叢 《県指定》

ひがしいちきちゆうもと

大汝牟遅神社の南側に、「千本楠」と呼ばれるクスノキの巨木が約20本茂っている場所があります。巨大なクスノキは各地で見られますが狭い範囲に多くの古い大楠が集中しているのは珍しいです。地を這うように横へ伸びる巨大な枝が多いのも特徴です。



⑭ 来迎寺跡墓塔群 《県指定》

らいごうじあとぼとうぐん

大里にあり、市来地域を古くから統治していた市来氏歴代の墓が建てられています。多くの石塔があり、いずれも鎌倉、室町期のものと考えられています。

⑮ 市来町市来貝塚 《県指定》

いちきちゆういちきかいづか

南九州の縄文時代後期の代表的な貝塚です。当時の人々の生活を知る上でも貴重な遺跡です。出土する土器は、市来式と呼ばれています。

⑯ 常楽院 《県指定》

じょうらくいん

吹上町田尻にあり、京都のお寺の住職が1192~96年頃、島津忠久の命令により建てたと言われています。視覚障害のあるお坊さんしか入れないお寺とされ、楽器の達人が多かったようです。

⑰ 亀丸城跡 《県指定》

かめまるじょうあと

亀丸城は、島津氏の分家である伊作家の伊作城本丸です。県内でもっとも大きな山城です。日新公と呼ばれ、いろは歌でも有名な島津忠良、その孫の義久、義弘などもこの城で生まれています。